

お手入れ



必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセント
から抜いて、製品が冷めてからおこなう

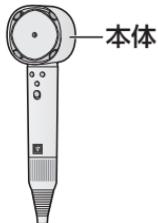
【感電・発火・やけど・けがの原因】

本体

お手入れ時期：汚れたら

表面を柔らかい布で拭く

本体にヘアケアローションなどが付着したままにしておくと、変色・割れの原因になります。



汚れが取れにくいときは、水または薄めた台所用合成洗剤(中性)で湿らせた布を固く絞り拭いてください。
その後、洗剤が残らないようによく拭き取ってください。

本体のお手入れに次のものは使わないでください。

(表面の変色・ひびわれや、内部(精密部)に液が浸透すると故障の原因)



シンナー
ベンジン
アルコール



オープンクリーナー
クレンザー
漂白剤



柑橘類由来成分
含有洗剤
(リモネンなど)



住宅・家具用
合成洗剤
(アルカリ性)



スプレー式洗剤
金属タワシ

距離センサー部

お手入れ時期：1カ月に1回以上こまめに

綿棒*でほこりを取り除く

綿棒で凹部のほこりを軽く払う
※ベビー綿棒を推奨

(必ず新しい綿棒でお手入れしてください)

距離センサー部



吹出口・吸入口から、ヘアピンや針金などの異物を入れない
【火災・感電・異常動作の原因】

お手入れ

警 告



必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセント
から抜いて、製品が冷めてからおこなう

【感電・発火・やけど・けがの原因】

吸入口

お手入れ時期：1カ月に1回以上こまめに

はずしかた



吸気カバーを
引き下げて
本体からはずす
(マグネットで
固定されています)

付けかた



吸気カバーを上に
引き上げ、印(●)
が合うようにして
本体に取り付ける
(吸気カバーを付けた
状態で回転させない)



吸気カバー



吸気フィルター

乾いた柔らかい布で吸気カバー、
吸気フィルターのほこりを
取り除く
(吸気カバー、吸気フィルター
に力を加えすぎないように
してください)

ほこりが付着すると風量が落ちる原因になり、安全装置が働くことがあります。
(安全装置がひんぱんに働くと故障の原因になる可能性があります)
ご使用前に、吸入口にほこりが付着していないか、確認してから運転することをおすすめします。ほこりが詰まった状態で使用を続けると、
故障・破損の原因になる場合があります。
濡れた布で拭かないようしてください。
フィルター目詰まりの原因になる場合があります。

プラズマクラスターイオン発生ユニット(電極部) お手入れ時期：2カ月に1回以上

ユニットは、お手入れするとくり返しお使いいただけます。

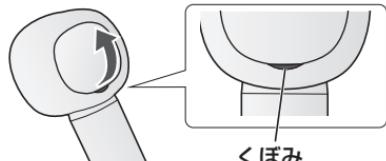
交換不要

1

電源プラグを抜く

本製品背面にある外カバーを取りはずす

2



下部にあるくぼみから
引き上げる
(はずれない場合は、
ゼムクリップ等を使用
して下さい)

3

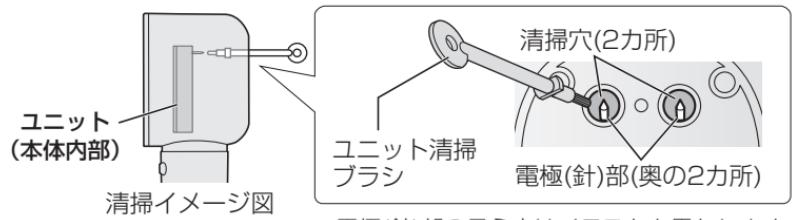
清掃用カバーのネジをゆるめて清掃用カバーを開ける



4

清掃穴(2カ所)にユニット清掃ブラシを差し込む

電極部(奥の2カ所)先端が手前側に向いているため、清掃ブラシを上下左右に動かして、電極部(奥の2カ所)の汚れを取り除く



5

清掃用カバーを戻し、ネジをしめる

※清掃用カバーをしっかりした状態でないと外カバーは取り付けられません。

6

外カバーをしっかり取り付ける

ご注意

- 清掃用カバー周辺のネジ4本ははずさないでください。
(破損の原因)



- ユニットは取りはずすことはできません。
- 付属のユニット清掃ブラシ以外(綿棒など)を使用しないでください。
(故障の原因)